

4 「道」分科会 要旨

San-En-Nanshin Summit 2011 in Ensyu

「道」分科会では、「中部圏の中核となる地域基盤の形成」をテーマに、「三遠南信自動車道の整備状況」の報告などを踏まえて、意見交換がなされた。

コーディネーター	浜松市	市長	鈴木 康友
報告者	浜松河川国道事務所	所長	盛谷 明弘
議 会	豊橋市議会	議長	近田 明久
	浜松市議会	議長	吉村 哲志
	飯田市議会	議長	上澤 義一
行 政	新城市	市長	穂積 亮次
	東栄町	町長	尾林 克時
	高森町	町長	熊谷 元尋
	下條村	村長	伊藤 喜平
経 済	渥美商工会	会長	渡会 一昭
	東栄町商工会	会長	井筒 睦治
	天竜商工会	会長	平賀 丈太郎
	磐田市商工会	会長	野寄 宏之
	御前崎市商工会	会長	阿形 好男
	飯田商工会議所	会頭	柴田 忠昭
	駒ヶ根商工会議所	会頭	山下 善廣
住 民	しずおか街道観光研究会	会長	田中 孝治
	祭り街道の会	事務局長	伊東 直幸

(敬称略)

■はじめに 事務局

それでは、ただいまから「道」分科会を開催いたします。

この会の運営は、コーディネーターを鈴木康友浜松市長にお願いして進めます。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

本日の予定でございますが、最初に「道」分科会における意見交換の資料である重点プロジェクト工程表につきまして、事務局から説明をいたします。

次に、国土交通省中部地方整備局浜松河

川国道事務所の盛谷明弘所長から、三遠南信自動車道の整備状況についてご報告をいただく予定になっております。

これらを踏まえまして、三遠南信地域連携ビジョンでは、23年度までの4か年を第1期と位置づけており、これまでの重点プロジェクトや推進体制について検証をいただき、また、第2期において、とりわけ優先的に推進する事業等について、ご意見をいただきたいと思います。

それでは、まず、事務局から重点プロジェクトと工程表につきまして、説明をお願いします。

事務局

まず、三遠南信地域連携ビジョンにつきましては、平成20年3月、19年度に策定されました。それからことしで4年目を迎えますが、この23年度が三遠南信地域連携ビジョンの評価見直しの年に当たります。

この分科会では、重点プロジェクトの工程表をもちまして皆様に意見交換していただき、評価・見直しを行っていただきます。

それでは、皆様のお手元にございます資料集の30ページ、「道」分科会の重点プロジェクトでございます。

まず1点目ですが、政策の基本方針を、中部圏の中核となる地域基盤の形成としておりまして、その1点目、三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路構想の実現。2点目、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と、高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実。3点目、リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置。4点目、豊橋浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進。続いて32ページですが、5点目としまして、県境を越えるマスコミの連携、以上5点が道分野における重点プロジェクトとなっております。

資料の33ページをご覧ください。

こちらは、第1期重点プロジェクト工程表としておりまして、昨年7月のSENA委員会で承認されたものから、進捗状況を踏まえて修正したものです。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

それでは、三遠南信自動車道の整備状況につきまして、国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所長の盛谷明弘様より、ご報告をお願いいたします。

■報告

「三遠南信自動車道の整備状況」

国土交通省中部地方整備局

浜松河川国道事務所 盛谷明弘所長

ただいまご紹介いただきました浜松河川国道事務所の事務所長を務めております盛谷です。お集まりの皆様方におかれましては、日ごろより三遠南信自動車道の整備を始めとする国土交通行政の推進にご理解とご支援を賜っておりますことを、この場をおかりしましてお礼を申し上げます。

それでは、三遠南信自動車道の整備状況についてご紹介させていただきます。

お手元の資料集、19ページからをご覧くださいと存じますが、最初に、おわびです。お手元の印刷資料にないスライドをたくさん使ってご報告をさせていただくことになってしまいます。こちらのスライドの内容のほとんどは、先ほどの全体会議が行われました中ホールの前にパネルで展示をしてあります。まことに恐縮ですが、そちらもあわせて、ご移動の際にご覧いただきたいと思っております。

それでは、報告に移らせていただきます。

三遠南信自動車道の事業進捗状況です。

北から飯喬道路の1工区が開通しております。2工区は、用地買収、工事を進めているところであり、3工区は、測量、実施設計等を行っているところです。

それから青崩峠道路ですが、少し表現が舌足らずになってはいますが、青崩峠道路は、事業区間は全体で13kmですが、そのうちこの6kmの区間につきまして、環境影響評価の手続が終わったところとご理解賜ればと思います。

それから、静岡県、愛知県側に移りまして、佐久間道路、三遠道路は、まず佐久間インターから東栄インターの区間、以降、インター名等は仮称ですが、用地買収、工事着手を行ったところです。その南の区間

の鳳来インターまでの7.1kmは、用地買収、工事の着手の段階に至っております。そして、一番終点側の仮称の鳳来インターから引佐北インターまでの間ですが、平成23年度、今年度の開通を予定しております、その目標達成に向けて鋭意工事を進めているところです。

また、これらの区間のうち、当面現道を活用して早期のネットワーク形成を図るとする区間が、それぞれこちらにお示ししているとおおり、20km余の区間があります。

23年度に開通を予定している区間につきまして、道路の整備効果についてご説明申し上げます。

現在、高速道路のインターまでに1時間以内で到達可能なエリアとしての、逆に言うと、到達できないエリアが白地で示してあります。これが、23年度中に供用を予定しております区間が開通した際にどうなるか。ピンクに着色した区間が、そういうサービスを利用可能になる。さらに、三遠南信自動車道が全線開通いたしますと、そのサービスの享受が可能になる区域はこれだけ広がるということです。

このほかにどのような効果があるかですが、奥三河地域の高速道路へのアクセスが改善されることをお示したわけですが、

この奥三河区域は、製造業の集積や規模という点から見ますと、豊橋市等の臨海部とは、少し蓄積は劣っているわけですが、こういう区域の中でも、例えばセリサイトを掘削、精製して化粧品の素材として提供している、ほぼ国内においてはオンリーワンの企業ですが、そうした会社も立地しておられまして、そうした会社の出荷のお役に立てるのではと伺っているわけです。

それから、観光の面ですが、多彩な観光資源が既に存在しておりますが、観光客が減少している傾向にあるのではということもあったわけですが、豊根村におかれまし

ては芝桜まつりや、東栄町における東栄フェスティバルなどイベントに積極的に取り組んでいただいております。

そうした中で、例えばこちらの奥三河地域の観光入り込み客の推移につきまして、この下の図に示すとおり、ぐるっと遠回りしていたところを直結できる。あるいは、このルートを行って、また往復しなければいけないときに、周遊性、回遊性を持たせたルート設定も可能になる。そのような効果が期待できるものと思っております。

さらに、医療サービスを受けるという点での効果ですが、豊橋市民病院あるいは聖隷三方原病院といった第3次の救急医療施設に対するアクセスが飛躍的に向上する。今回の開通区間と、新東名の効果もカウントに入れていますが、この2つの効果が相まって、これらの3次救急医療施設へのアクセスが改善されることは、確実に期待してよろしいと思っております。

そして、これらの中山間地域と浜松市等の都市部との連携強化、そういったことにつきいろいろな声を聞きましたところ、実際にこちらにお住まいの方が、日ごろ足りないと思っているサービスを受けることが容易になるという点での効果も期待してよろしいかと思っております。

さらに、ここでは奥三河地域の花祭りというものを例にとらせていただいておりますが、大変伝統のある行事だと伺っておりますが、なかなか後継者が不足し、実際80年間で7つの集落で花祭りが行えなくなってしまっていることを伺っております。こうした現状を踏まえまして、東栄町さんでは、広域的な交流を通じて、花祭りを広く紹介するための東栄フェスティバルというものを開催しておられると伺っております。

東三河ふるさとガイドという方に今後のいろいろの声を伺いますと、都市におられる方でもこの花祭りに魅せられた方もい

らっしゃる。そうした方が、三遠道路の供用によりまして、一層花祭りへ来られる、また、参加をしていただける。そういった期待をしてよいのではという声も伺っているところです。

今回、23年度中の三遠道路の供用を目前としているという意味も含めまして、さまざまな声を伺ってきたわけです。繰り返しになり恐縮ですが、詳細につきましては中ホール、全体会の会場入り口のパネルでご確認いただけたらと思います。

ここからは現在の事業の進捗状況について簡単にご説明申し上げます。

繰り返しになりますが、飯橋道路の1工区、7.2kmにつきましては、平成20年4月13日に開通しております。飯田山本インターから天龍峡インターまでの間で既に盛んなご利用をいただいているものと承知しております。

それに隣接しております飯橋道路2工区ですが、工事の現況をお示ししております。

仮称ですが、中央インターチェンジの現況であり、さまざまな構造物の工事が進捗している様子が見ていただけるとと思います。

同様に第2工区の工事の状況であります。時間の関係で割愛させていただきます。

3工区ですが、約7.5kmの区間につきまして、測量、地質調査、設計を行っているところです。

次に、静岡、長野県境の青崩峠道路についてです。青崩峠道路は、この間約5km弱をトンネルで貫く計画としています。平成21年度には、長野県、静岡県の両県の条例に基づく環境影響評価の手続を完了させることができました。今年度は、測量、地質調査と並行しまして、トンネル工事に向けた設計を実施することを予定しております。このことにより、現在の152号の通行不能区間の解消が図られることとなります。

次からは、私ども浜松河川国道事務所が

担当しております佐久間三遠道路ですが、ここからは説明の順を変えさせていただき、新東名と接続するジャンクション部からご説明申し上げます。この図でいいますと、右から左に向けての説明になります。

この図は、新東名とのジャンクション部の説明です。それぞれジャンクションに接続する、これはFランプ橋の現在の状況です。同じく、ジャンクションと接続するGランプ橋です。見ていただいているとおおり、上部工と申しますが、橋の桁は、10月、今月の段階でかかっている状況です。

さらに進みまして、こちらは仮称ですが引佐北インターチェンジの付近の写真です。こちらは飯田方面から三ヶ日方面を見ておりまして、この左右に走っておりますのが新東名の本線です。

先ほど見ていただきましたFランプ橋、Gランプ橋はこちらになります。飯田から参りまして、この料金所を通り、三ヶ日ジャンクションまで向かう場合は、ここを直進いたします。新東名に乗る場合は、こちらからランプ橋を経由することになります。

こちらは、飯田方面から引佐方面からの乗り口を見ている写真です。

さらに飯田方面に向かうところです。それぞれ工事がこのように進捗しております。舗装等が完了してラインが引いてあるところもあるという状況です。

さらに進みまして、ここも同様に工事が進捗している状況を見ていただければと思っております。

進みまして、5番、6番は、三遠トンネルの抗口をそれぞれ映しております。三遠トンネルは、今回供用する区間の中では一番長い区間でありまして、延長約4.5kmです。中央構造線をこのトンネルで横断しておりまして、工事に5年の期間を要してしまいました。中央構造線を横断していることから、技術的な面で申しますと、破砕帯から

水がわき出してきて、その処理の対策に時間を要してしまっただけのところ。現在は構造としての工事は完了しております。

さらにその先に進みまして、ここから愛知県内に入っております。三遠トンネルなどのトンネルの掘削で発生しました残土を処理した大島の盛り土の状況や、それに続きます名号の高架橋の状況です。

さらに151号とタッチいたします、仮称の鳳来インターチェンジの状況です。

将来、本線はこのように行くわけですが、151号におりるのと151号から乗る橋については、ここまではでき上がっております、下って行きますと151号に接続する、そのような状況になっております。この先が、151号がここを左右に結んでおります。

ここまでの、今年度供用を予定しております区間の状況です。現在151号と257号を使った場合、30分程度かかる区間ですが、15分で通ることができるようになっております。

さらにその先の東栄インターの部分の現在の状況です。

こちらが151号で、151号から東栄インターのランプに向かうための橋梁の構造ができ上がっている様子を見てとっていただけるものと思っております。これからさらに工事を進めていく予定としております。

こちらは、さらに佐久間、三遠道路の始点側になりますが、一番北の部分、仮称ですが、佐久間インターチェンジの建設予定地でありまして、用地買収にご協力いただいた区間の建物の移転などが進んでいる様子が、こちらは佐久間インターをつくる予定地の現在の写真でありまして、まだ工事にかかっておりませんので、ちょっと姿は見えていただけないと思っております。

今回の台風12号、台風15号において、この地域におきましても多数の通行止め等が発生したわけ。三遠、佐久間道路を完

成させることで、この間の確実な交通の確保というものを果たせるようになるということも確信をしております。これに向けて、事業を一生懸命進めてまいりたいと思っておりますので、今後とも引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上で報告を終えさせていただきます。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

第1期の重点プロジェクト工程表等は事務局から、三遠南信道路の進捗状況については、盛谷所長から説明がありました。

以上を踏まえ、皆様からご意見をいただき、特に1期の検証と、それから2期に向けてどういう事業を推進していくか、ご意見をいただければと思います。

■ 議論・意見交換



浜松市議会 吉村議長

浜松市議会議長の吉村と申します。実は奇しくも昨日、引佐インターチェンジから鳳来インターチェンジまでの13km、これが今年度内に開通するというので、現場見学会があり出席させていただきました。会場には、地元の皆さん、近隣の皆さん方も大勢お見えになりましたので、そのような観点から、私から口火を切らせてもらい、発言させていただきます。

道路が開通することによって、生活自体がどう変わっていくのかを、その近隣の方々はもちろんなのですが、浜松だったら

浜松市民全体に浸透をさせていく。そして、例えば要望活動ですと、一部の方々だけがそれに取り組んでいるのではなくて、市民全体で盛り上げていくことが、非常に大事なことだと思えます。

一つの道路が開通することによってどんなメリットがあるのかをきちんと整理して、皆さんに提示する必要があるかなど、そんな思いを持ちました。

今日も基調講演で谷口先生から、この三遠南信自動車道が開通することによって、例えば、救急救命の面で画期的な効果があるとの話がありました。佐久間病院で救急搬送が必要になったとき、3次救急の聖隷三方原病院に搬送されると、今なら75分かかるところが45分程度で搬送可能となり、約30分間の短縮になります。これは救急救命にとっては画期的なことであり

ます。昨日も、住民の皆さん方と話をすることがあり、一つの例としてこの話をさせていただき、住民の方々は大変感心されていま

した。例えば、万一、震災になったときには、日本海側からの救援に対して非常に重要なルートになりえるとか、あるいは三遠南信の250万人の文化とか経済とか、そういう面の交流で多大なプラスがあるということです。そして、もう少し小さなことで見たときには、今お話ししたような救急救命の面とか、あるいは中山間地では時間が短縮されることによって、その場所に住むことができるというメリットが生じ、それぞれの中山間地のコミュニティもしっかり維持され、さらに限界集落もなくなるのではないかと思います。こうしたことをきちんと整理し、それを一つの要望の中に盛り込み、今後、地域住民全体の要望として、国や県に上げていく必要があるかなど感じています。昨日の現場見学会でそんなことを思い

ました。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

沿線住民、市民にわかりやすいインフラ整備のメリットと、防災、救急とか、しっかりと認識していただいて、全体として盛り上げていくことが大事だというご意見だったと思います。

新城市 穂積市長

新城市の穂積です。

今の浜松の議長さんのご意見に全面的に賛同したいと思えます。と申しますのは、私どもも昨日引佐、鳳来間のインターチェンジの開通を前にした開通前イベントを行わせていただきました。

JRのさわやかウォーキングと連携して、一番の隣接であるJR飯田線の三河川合駅から国道151号を渡って、ランプ部分からトンネルを抜け、三遠道路の道路部分を歩いていただきました。そしてヘリポートになる予定の場所で、お隣の東栄の小学校の皆さん、あるいは飯田の合唱団の皆さん、そして我々新城の地元の市民とが、いろんな交流を行いました。演奏活動やあるいは地場の物産の販売であるとか、本当に楽しいイベントになりました。

この道路が23年度中というのですから、少なくとも来年3月までには供用開始になる。そして、その先には、新東名が開通すれば三ヶ日へつながり、また、新東名全体の本線と直結していくということになると思えます。その中で特に感じたことは、今、浜松の議長さんもおっしゃいましたが、住民同士の交流をもっと強めなくてはいけないということです。特に、今回三遠道路ができますと、三遠南信の全体の計画の中では、初めて県境を越える道路の供用開始になるわけです。今までの飯橋部分は、もちろん飯田の皆さんにとっては大変大きな革

命的な変化だと思えますが、同時に三遠道路ができますと、引佐、鳳来間という、お隣でありながら県の境があったがために心理的な距離が遠かった部分が一挙に縮まってくる。そういう意味では、今回の新東名の開通も含めて、三遠道路が供用開始になったことを受けて、住民同士のいろんな交流事業をもっと具体化したほうがいいのではないかと思いますし、また、観光事業者とタイアップして、観光コースの商品開発、これもぜひ取り組んでいきたいと思えます。

私どもは、今、新城と北設楽郡の4市町村で共同して、奥三河の観光開発に力を入れようとしています。豊根村の茶臼山の芝桜ですとか、東栄町さんの花祭り、そして私ども新城市のいろいろな観光資源がありますが、それと遠州地域、そして飯田の南信州の皆さんとのいろいろな連携がたくさん考えられますので、この分科会だけではない課題ですけれども、SENA全体で具体的に住民同士が、地元の人たちに喜んでもらうことを第一義にしながら、同時に外部の観光の誘客もコースを設定するような、そんな事業に取り組んでいけたらと思っています。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

大変重要なお指摘もいただいたと思えます。インフラが整備されることによりまして、これまで違った地域あるいは自治体がさらに交流を進めることによって、いろんな相乗効果が生まれてくるだろうと。特に、今市長がおっしゃられたように、観光というのはこれから広域で取り組んでいかなければいけない事業でありまして、そうした取り組みを、三遠道路のように県境をまたいで供用開始できるインフラの整備に準じて、連携をさらに強化していくことで、ぜひこれは三遠南信地域全体の課題だと思

ますので、この取り組みをしていきたいと思えます。

渥美商工会 渡会会長

渥美半島の先端にあります旧渥美地域の商工会長の渡会です。

私はこういう会議に最近出ますと、大変本当に悲しい思いをするというのか寂しい思いをして、皆さんのお話を聞くわけです。

といいますのは、伊良湖岬から高速道路のインターチェンジに入るまでに、1時間半だとか2時間、そういう単位で時間がかかります。特に豊橋市周辺の道路の抜けるところが大変混雑するというのもありまして、観光客等からのクレームもあります。

先日は、フェリー問題等で皆様方にいろいろ協力をいただきましたが、鳥羽市長いわく、観光バスを渥美半島へ送りたいのだが、観光バスの運転手が、道路が狭くて危なくて走りたくない。そのような話、例えばウォーキング大会をやろうと思っても、国道に歩道がないところがたくさんあり、ここ3年ぐらい前までずっと続いていた100kmウォーク大会が、碧南から渥美半島の先端までありましたが、住民から危ないというクレームが出まして、渥美半島へ来なくなり、碧南から豊橋を往復というような形のウォーキング大会になっているところもあります。

また、これで新東名ができ、伊勢道とつながると、特にフェリーの問題がまた再発してくるのでは、そんな思いをしています。

フェリーといいますと、3連動地震に備えまして、一つ有力な防災の輸送機関になり得るものではと、そんな思いをしています。渥美半島は、道路状況が40年前とほとんど変わっていません。忘れずに半島を三遠南信の一番の海に続く道として考えていただきたいと、そんな思いでおります。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

渥美半島も大変重要な三遠南信地域ですので、伊勢湾口道路になるかと思いますが、もう少し道路がよくなるといいなと思うこともあります。

伊勢湾口道路、そして、それと結節をする浜松三ヶ日・豊橋道路等の整備に向けても、これは今度の2期目のまたプロジェクトとして、重点課題として取り組んでいく必要があるかなと思います。

渥美商工会 渡会会長

それと、緊急の問題として、伊勢湾口道路といいますと、本当に数十年単位の先の話であると思いますので、その前に、何とか信号を少なくした、準高速道路と言わなくても、ある程度スピードが出せる道路に改良していただきたいと。その辺の要望もしていただきたいと思います。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

わかりました。

東栄町 尾林町長

東栄町長の尾林克時と申します。本年度4月に就任をしました。

去年は、商工会の会長をさせていただいており、この場で発言させていただきました。また、同じようなことを言って申しわけないと思いますが、資料集19ページの東栄町から鳳来町の間が非常に遅れています。上の佐久間から東栄町、これは用地買収、工事着手ということで、もう既に工事が始まっていますが、東栄町から鳳来町、この間がやっとボーリング調査が始まったところです。かなりおくらせていますし、いつごろ完成ですかと聞きましても、皆さん本当にわかりませんとご回答をいただいていますので、何とか東栄町、鳳来町間を早期に着工していただきたい、全線が整備されて

こそ道路の効果が100%上がることで、早期に着工をお願いしたいと、思っています。

今、スライドの中でも東栄町の話がよく出ていました。セリサイトは、日本でも第一の産地であり、世界にも50%ほど輸出をしている絹雲母ですが、これまた有名です。また、花祭りも今紹介されたわけですが、いろんな意味で、私どもはまだまだこれから伸びていく魅力のある町だなと、思っておりますが、残念ながら、今まで道路がなかったために、少し皆様方に不便をかけていたと思うわけで、私が町長に就任しまして、いろんな意味で整備して、皆様方にお越しいただきたいと、思っております。

特に昨年度も商工会でスタンプラリーをやったのですが、浜松の方からは上の方に向かって来ていただけなのですが、長野県から下の方へ向かっての動きが去年は少なかったような感じがしました。これはなぜかなと思って、昔のように皆さん方が行き来するといいますか、今の経済状況から見ても、人の動きが少し悪いのかなと、こういう感がしています。今回のこの道路を契機に、先程から、話がありますようにますます交流を盛んにし、また私どもも魅力ある地域をつくり上げていきたいと、思っておりますので、皆様方もご協力の程よろしくお願いいたします。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

東栄、鳳来間は、真ん中ですから、ここが抜けては一体的な活用ができません。

所長、状況等をご説明いただけますか。

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所 盛谷所長

事業の状況は、先ほど申し上げたとおりであり、許された範囲で一生懸命やっておりますということしか現在申し上げられな

いことを、私自身も歯がゆく思っています。申し訳ございません。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

ということでありますので、もうしばらくお待ちいただきたいと思えます。

飯田市議会 上澤議長

飯田市議会の上澤と申します。

私は、南信州広域連合の立場でお話をさせていたきたいと思えますが、きょう前段で私ども議員の協議会を開催しました。これは、三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路の建設促進議員協議会という組織であります。ことしの6月28日も国交省、民主党も含めて、それから地元選出議員などに要望活動をやってまいりました。

そこで感じたことは、私どもの運動そのものは、三遠南信道路の早期建設の促進と、それから、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期の事業化と財源確保を要望してきたわけですが、その中で、今までも既存の建設促進の期成同盟会がありまして、それに加えて、私ども議員の協議会という形での、同じ要望活動をしたわけですが、行ってみまして、かなりインパクトがあるなということを感じました。三遠南信地域の3県域で28市町村、そして議員数が446名、皆さんに加盟していただいて、要望活動を今進めているわけですが、特に大震災以後、日本海と太平洋側を結ぶバイパス機能を持った三遠南信自動車道はじめ、国も考え方が変わってきたのではないかと考えております。

それと、今までただ単に道だけではなくて、この3県域の広域連携をビジョンも作って推進しているわけですので、もっと強く訴えて、国にもっと認識してもらおう。そして、これからの日本を考えたときに、広域連携というのは必要であるという認識を持ってもらうための活動も必要ではない

かと思っておりますので、ぜひそういうことも推進していただきたい。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

議員の皆様が一致団結をしてご要望いただいたということで、大変インパクトがあったということです。

議長が言われるように、やはりこの道を何で整備しなくてはいけないかということは大変重要なポイントであろうと思えます。日本でも非常に珍しい県境を越えた広域連携、この骨格の道路であるという、その重要な位置づけであることをこれからもしっかり国に訴えていく必要があると思えます。

天竜商工会 平賀会長

天竜商工会の会長の平賀です。

今、浜岡原子力発電、やるのかどうかでいろいろ問題になっておるのは、皆さんご承知のとおりだと思いますが、私たちの地域には、長野県諏訪湖から流れてくる天竜川がありまして、そこに大きな佐久間ダムを設けております。これは、今、年間35万キロワット、日本一のダムです。これがもう年数が経つことによって非常に堆積が多くなってきていることで、以前に田中長野県知事が、長野県にはダムはつくらないということで、諏訪湖から泥でも何でも全部佐久間ダムへ来て、たまっております。

今非常にダム堆砂についてはいろいろ検討されているようですが、35万キロワットというこの数値は大きな数字です。浜岡がそのような状態ですから、これ以上発電容量を落とすということはできません。やはりダム堆砂を早く今のうちに処理しないと非常に影響が出てくる問題があるわけですし、このダム堆砂を、三遠南信道路を早く佐久間までつけていただいて、夜間にこのダム堆砂を搬出することで、渥美半島、それから、浜松の中田島の辺りへ持っていか、

いろいろ運搬方法はあるかと思いますが、私は三遠南信道路の利用をしていき、また、そういう電力の関係を考えてみても、ぜひとも一日も早くこの完成をさせていただきたいと思っています。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

少し違った観点から、道路整備の必要性についてお話いただきましたが、佐久間ダムは、皆さんご承知のように、水力発電の施設としては日本有数のダムです。建設してから随分たちますので、ダムに土砂が堆積しており、このまま放置しておくとうダムの機能が失われていく、新規のダムの建設はなかなか難しい、既存のダムの機能を取り戻さなくてはということで、国でダムの再編事業を行っており、実は佐久間ダムが一つモデル、今その研究対象になっており、調査費等もついているわけです。

我々としては、早くこのダム再編をしていただき、佐久間ダムに砂がたまることによって、実は遠州灘の海岸の侵食が進んでいくという因果関係があるとも言われており、今、平賀会長が言われたのは、ダムの浚渫（しゅんせつ）をして、それを海岸の養浜に使ったらどうだと、いうお話です。そのためにも、土砂運搬のために、三遠南信道路のような基幹道路は必要だろうとのお話だと思います。

いろんな意味で、道路は必要だと思いますので、そうした視点も盛り込んでいかなければと思います。

飯田商工会議所 柴田会頭

飯田の柴田です。

この話し合いが始まる最初に、浜松の吉村議長さんから、引佐、鳳来の開通だけでも相当のいい効果が出そうだと期待のお話がありまして、そこから始まったわけですが、実は7月26日に経済開発協議会

の役員会がありまして、本日の盛谷所長さんのご案内で、私どもは引佐から北に向けて現状を見せていただきました。

その後今月に入りまして、北の飯田山本インターから行けるところまで、県境ですが、どんな状況かきっちり確認したいということでご案内いただき、見て来ました。

もう供用の始まっている飯田山本、天龍峡間とか、あるいは喬木、程野。新しく開いたトンネルを、全部見て来ました。また、工事中の現場も見ました。それから、最後の最後、青崩峠のトンネル前まで。用地買収の予算はついているとお聞きしていますが、それからさらに先の青崩峠そのものが通るのであろう場所も見て来ました。

私が申し上げたいのは、道路というのは、最初から最後までがつながないと十分な効果が発揮できないと。部分的なところでもかなり効果が出てきて、その効果が仮に3だとすれば、最後の3でも全通すれば30になるというぐらいの大きな効果が出るのではと思いますが、その中に青崩峠の現場を見まして、これはとんでもないところへトンネルを開けなくてはならないな、相当の時間もかかる、費用もかかる。従って、トンネルを開けるためのくわ入れがいつできるか、最終的にいつごろ全通するだろうか大きな目標になるのではと思います。

ぜひ、リニアは開いたけれども三遠南信道路は開かなかったことに万一にもならないように、やはりリニアと三遠南信道路のコラボレーションもあって本当の効果が発揮されると思いますので、少なくともこれから7年、8年の間には、しっかり三遠南信道路は開いて、そしてリニアを迎えるというような態勢になるように、私どもも運動をしていかななくてはと思っておりますので、皆さん、ご協力をお願いいたします。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

長野県側をつぶさに調査していただいたということですが、確かに、道路は最初から最後まできちっと整備されないと、効果は半減どころか効果がなくなってしまうので、しっかり整備が進むように我々も力を注いでいかなくてはいけないわけですが、これからが実際は勝負です。

整備がしやすいところから整備をいただいているわけですが、今、最大の難工事となる青崩峠道路、それからまた、長野県側あるいは静岡県側もありますが、現道活用区間となって、これまた非常に狭隘な道路、こうした整備をしっかりとやらないと、三遠南信道路の一体的な活用をしていけませんので、みんなで取り組んでいかなくてはならないと思います。

下條村 伊藤村長

長野県下條村、伊藤です。

私どもの村は、飯田市から豊橋まで国道151号というのが出ております。その南隣でございまして、人口は4,200人ぐらいの小さな村です。

私どもは、南信州広域連合というのを、飯田市さんを中心として、1市13町村で組んでおります。面積は四国の香川県並みですが、林野率が86%。山、川、谷が非常に多いわけで、その中に1市13町村が点在しており、道の重要さは本当に命の次です。

公共交通機関といっても、飯田線がずっと下のほうを通っていますが、これも1時間に1本ぐらい。「乗って残そう飯田線」と、今一生懸命乗ろうとしています。1時間に1本ではどうもまずい。JR東海も、乗らないものにはそんなに列車を走らせないぞという悪循環の中にいるわけですが、先ほど道の持つ医療というようなお話もありました。私どもは、医療も含めて教育からすべて道に頼っているわけですが、道のあ

りがたさというのを改めて感じたわけ。サミットに3時間10分かかりました。私どもは選定を誤ったわけで、151号というのは非常に改良されて安全で通れるものだという意識の中でいしましたが、太和金トンネルという、395mのトンネル、それが、今通行止めで、迂回路を通ってくればよかったです。過敏な反応をしまして、というよりどじな反応をしまして、3時間10分かかったわけ。そのときに感じたことは、道路というのがいつ通っても安全で安心して通れるものだという概念が私たちの中にあることは、まずいことかなということ。その中には、感謝の気持ちもあり、それから愛護の気持ちもあり、常にそうしたものを我々が持ち続ける中で、ない物ねだりでなくて、きっちり私たちのお願いもしていかなければならない、原点に返ったような気がしたわけで、そういう面ではよかったなと思っています。

先ほど20年4月13日というお話がありましたが、私どもの中央道の飯田山本インターから7.2km、天龍峡インターまで供用が開始になりました。たった7.2kmということですが、私どもの小さな村でも非常に大きな変化があったということで、私どもの地域おこしの拠点である道の駅も、ずっと低空飛行を十何年続けており、若干の赤字も出ていましたが、二、三年のうちに大分基金もたまるようになり、村民の皆さんも生き生きとして地産地消に励んでいるわけです。阿南町さんにまで効果が出ていることはありがたいことと思っております。

今リニアの問題も出たわけですが、リニアは長野県を、皆様のご協力によりまして、中央・南アルプスの真ん中を、トンネルを掘って、南信州を、飯田市をかすめて通るようになりました。ところが、今五十数km通る予定ですが、明かりの部分、これが河川の橋梁を除いては約2.2kmだけだそうで

す。あとはみんなモグラで潜っていつてしまうわけですが、その2.2kmの中で、これは何としても波及効果を上げなければならぬと、いかにアクセスをうまくやるか、それで平面として活用しなければいけなく、これもまた道そのものの重要性というのはいやが上にも増してくるわけです。

私どもの地域は、今東京に行くのに4時間かかります。今度それが開くと40分で通るようになる。人口250万圏域の皆さんに大いに使っていただかなければとなると、それは図らずも道であるということで、期待をかけております。今、渥美の会長さんの横に座らせていただきましたが、長野県、海なし村であり、海の家を運営させていただいて、毎年毎年赤字が出ておりました。それはすべて道路状況が悪いということで、最後の最後に大赤字をしまして、清算させていただきました。ご迷惑をかけたことをおわび申し上げ、終わらせていただきます。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

いろんな実感から、道の必要性というものの訴えをいただいたわけですが、飯橋道路の一部が供用開始されただけでも、既にいい効果が出ているということで、さらに促進していかなくてはと思った次第です。

しずおか街道観光研究会 田中会長

2005年にこのサミットに住民セクターということで入れさせていただき、ちょうど6年が過ぎました。午前中に住民の関係のセッションがありましたが、6年たちまして、具体的な形の見えるところまで行こうというところまで、やっと話が来たという状況です。

連携ビジョンの見直しをという話、評価の話がありました。私も連携ビジョンに少しかかわらせていただいたのですが、作っていた当時と大分状況が変わっているとい

う認識が要るのではと思っています。皆さんのお話にありましたように、3・11以来、道に対する考え方が、これは日本全体がそうですが、随分変わってきているという感じがします。

住民の生活を考えますと、少し言葉がなじまなくて悪いのですが、道路というのが、鉄道を狭義の道路に含めて道路というのと、震災で感じましたのは、熱路という言い方もかもしれませんが、エネルギーの道というのがもう一つ。それから、情報の道という意味では、情路という言い方ができるのかもしれませんが、道路と熱路と情路というのが、ネットワークを考えると、この3つが非常にセットになっているというのを、今度の震災の中で非常に感じて、道があってもガソリンがなくて走れないという状況もありましたので、この3つをネットワークとして捉えていくというのも、3・11以後の新しい視点じゃないかなと思います。

もう一点は、リニアの問題も今ありましたし、新東名も、来年の早ければ5月とか6月とか言っていますが完成する。それから、今は三遠南信道、それから静岡のほうでは中部横断道というのがありますが、これは静岡にとってみると、今の海岸線よりかなり北側に通っているのです。ビジョン作成の時と少し違うのですが、我々はどうしても海岸線側なので、北へ地勢的な目が向くという状況が今、非常にしています。

それは、一つには津波のこともあって、海岸線から少し山間地という、高台に志向が向いているということも加わって、リニア、新東名、中部横断道、三遠南信道、それから防災ということがあり、みんなの考える目の向け方というのが非常に北に向いているというのが3・11以後あったのではないかなと考えると、やっぱりビジョンで、道路という、三遠南信道を考える時に、もう一回その変化を読み込んでやらないと、

今までどおりの理屈だけではいけないのではないかと。

それから、もう一つ、地域の道路であることは間違いないのですが、全国がいろいろな理由をつけて自分たちの地域の道の重要性というのを訴えている中では、単にローカルな道という位置づけだけではなくて、やっぱり国家的に重要な道なのだという訴え方もしていかないと、国の考えるプライオリティーの中には入っていかない。これも、新東名を含めて、防災面というのですか、日本の国家安全というぐらいの捉え方で、海岸側の道路と縦軸の、先ほど串という話がありましたが、その道路の国家としての重要性ということまで訴えていかないと、なかなか現実お金のない状況の中では進んでいかないのかなと思います。

ビジョンの中の三遠南信の捉え方の問題の中で、少し新しい視点として織り込んで運動していくことをまずお考えいただければありがたいと思います。

最後に、先ほど基調講演のお話にありましたが、私たちは、道の駅と風景街道をやっております。風景街道も、静岡県は今5ルートあります。長野もたくさんあります。たしか渥美半島もおやりになっていて、道と地域の関係を具体的に考える施策としては、風景街道というのは一つの非常にいい施策だと思います。

それから、道の駅の連絡会というのがあり、その事務局も、実は今年からNPO等に連絡会の事務局が移りました。私どもも、今静岡県の22の道の駅の連絡会の事務局をさせていただいていることがあって、風景街道と道の駅をセットにした、新しい道の駅の概念も入れて、ぜひ三遠南信圏の地域施策の一つとして、道の駅と風景街道をしっかり位置づけていただき、それで3県のそれぞれの道の駅と風景街道の連携を図りながら、そこにうまく住民が関わり、物

が関わることをさせていただければと。

そのような事で、もし評価があるのでしたら、ぜひその辺の視点を入れていただければ大変ありがたいと思います。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

3つのご指摘がございました。

3・11以降、随分と状況変化がありました。道路とインフラだけではなく、エネルギーの道あるいは情報の道、こうした視点も加えて考えなきゃいけないだろうと。

それから、津波の被害から、北に向けて目が行っているということで、そうしたことも視点として盛り込む必要があるということですし、また、地域のローカルの要望だけではなくて、ミッシングリンクと言われるかもしれませんが、国家的な道路の整備の中で、ここが国として非常に重要なポイントなのだと。特に、南北の連絡というのが日本は大変弱いわけでありまして、そうした意味でも、国家的な視点も必要だと。

それから、風景街道と道の駅ということで、そのことも位置づけていただきたいと。

3つのご指摘がございました。それぞれ重要なご指摘だと思います。

豊橋市議会 近田議長

豊橋市の近田でございます。

ただいま田中さんのほうから、防災について道路の役割という、本当にいいご意見をいただきましたとっております。

この三遠南信サミットが始まったその当初の目的、まず、人の交流とかいう形の中で進んできたと思っております。道ができれば、当然、人、物、いろんなものが動いてくるし、いろんな交流が出てくるだろう。そうした中で、やっぱり住民の皆さん方がいい生活なり、出かけることができる。

ただ、道路ができることは、日本が抱えている災害に対してどれだけの効果がある

かを考えていかななくてはならん。そんな思いがしております。

例えば、先ほど渥美半島の方も言われたとおり、従来から伊勢湾口道路というものはあったわけで、私たちが提唱させていただいた浜松三ヶ日・豊橋道路、これも産業的あるいはいろんな面で、人との交流あるいは防災、そういう面でも全部絡んでくるわけであり、将来的に三遠南信地域がこれを基軸としてどうやって発展していくか。そういうビジョンがあつてのこういう計画だったろうと、そう思っています。

したがって、先ほども言われたとおり、防災も含めた考え方も考えていかななくてはいいけない。そしてまた、ただこの地域の中で生きていくだけの道ではなくて、やはりこれを産業に生かすには、どういう形で何がどこにあるかというものを把握しながらの道路というものが必要じゃないかなと、そんな思いがしております。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

当初のこの道路について我々が取り組み始めたとき以上に、今、防災とか、あるいは、産業にどう生かしていけるのか、そうした視点を強く盛り込んでいく必要があるというご指摘だったと思います。

東栄町商工会 井筒会長

東栄町商工会会長の井筒睦治と申します。

先ほどは、道を通じていろいろな人のご意見を聞いていたわけですが、私ども商工会の立場として、東栄町に住んでいる私どもが共通するような環境の町は幾つかあると思うのですが、その中で道路が整備されて都会に出やすくなることで、特に私どもがこれから自助努力をしていかなければならない一つの問題として、例えば商業については、どうしても都会の大きなところに、道を使い、車を使ってどんどんお客が流出

してしまうと。そういうことによって、私どもの地域には、商店とかが成り立たない状況が生まれてくるといふ、住んでいる者の立場で言うと、若干デメリットの部分も大きくなるしかかってくるわけです。

その点について、道がよくなってくるとは、総体的に見ればメリットは大きいので、これは何としても私どもは、あの地域に住んでいる、またそして、未来に若者にも住んでもらえる地域づくりをしっかりとしていかななくてはという立場で考えたときに、今日は三遠南信の周辺の市町村の首長さんたちも大勢お見えになるので、ぜひお願いをしておきたいと、今感じたわけで、マイクを持たせていただきました。

私どもは、努力はするのですが、何せ持っているパイが小さいということで、どうしても都会の方のご理解とご協力がないと、同じ三遠南信に住んでいる者の中で、どんどん限界集落的な形で消滅していつてしまうという状況が何か目に見えるような気もするわけです。

ですから、浜松でいえば北部、愛知県でいえばやはり北部のところと連携し合って、特にこれから高齢化とかを考えたときに、何とかあそこの集落、町で十分な生活が成り立つよという環境を考えていていただきたい。都会の方で見れば、道路がよくなれば、ほうっておいても発展につながることは大きいと思うのですが、私どもは、ほうっておくとどんどん疲弊していつてしまうという状況になると思うのです。ぜひ、この三遠南信サミットの中で、そういう地域をどう生かすかと。

そして、天竜水系、それから豊川水系、この源は私どもの町に流れてくるわけです。そういう地域を荒廃させてしまうことが、将来に考えて、都会に住んでいる方も、本当にそれでいいのかという部分をしっかりと理解していただくと。地域に持っている役

割は役割としてちゃんと果たしてもらおうかわりに、我々が若干協力をしていかないと成り立たないぞという部分も考えていただけたらありがたい。そんなことを思って参加させてもらっております。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

私は、大変重要なお指摘だったと思います。道路の議論をすると、とかくメリットの議論が先行するわけですが、やはり中山間地の皆様からすると、アクセスがよくなると、どんどん都会へ出ていってしまうのではないかと。あるいは、地域の過疎化が進行するのではないかと等々、そういった問題がまた逆に出てくることで、これは冒頭に穂積市長が言われたように、やっぱり住民交流を盛んにし、例えば観光で連携していくとか、そこが私は三遠南信地域のよさだと思えます。一方で道路整備等の促進をみんなで頑張ると同時に、それぞれの地域の連携をどう果たしていくか、そうした問題が起こらないようにしていくかが、私はとても大事なポイントじゃないかなと思えました。

祭り街道の会 伊東事務局長

祭り街道の会の伊東と申します。

三遠南信自動車道ができるという話があってから、久しい時間がたっているわけですが、私たちも、この高規格の道路にすごく関心を持って、興味を持って、期待しているところです。

高規格の道ができることは、便利がよくなって出ていく人たちが多くなる。出かけるには都合がよくなるということが大きな問題ですけれども、その反面、地域へ人を取り込むことが非常に難しいということで、どうしたらということで、私たちは祭り街道という会をつくり上げたわけです。

私たちのいるところは国道151号沿線上

の県境の近くですが、県境を挟んで、この付近全体が祭りがすごく盛んで、祭り文化圏と言われ、国の重要無形民俗文化財があるところですので、それにちなんで祭り街道という名前をつけさせてもらいました。

活動している中で、少しずつ認められて、国土交通省から祭り街道という名前をつけてもいいよという許可をいただいて、現在に至っているわけですが、道路の中には、高規格で都市と都市を結ぶ道路も非常に重要ですがけれども、地方の町や村や人の心をつなぐ道路というのが、また重要な部分があるのではないかなと思っております。

先ほども風景街道の話が出ましたが、私たちは、祭り街道を通して、いかに人をここへ取り込むかということも多くの方に問いかけて、祭り文化を中心に活動していこうと考えております。

お陰様で少しずつ知名度が上がってきて、皆さんに理解していただいているところですが、先ほど高規格の道路が、鳳来まで来年度は開通するということでしたので、東栄町のインター、鳳来のインターから国道151号祭り街道を介して、ぜひ皆さんに入り込んでいただけることをお力添えいただきたいと思っております。先ほど下條の村長さんからもお話がありましたが、古戸のトンネルが現在通行止めということで非常に不便をきたしております。道は通れるのが当たり前というようなお話もありましたが、ぜひその街道も併せて、そういった地方の街道も整備をしていただきたいと思います。お願いします。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

大きな高規格道路以外に、人をつなぐあるいは心をつなぐ道路が大事だというお話でございまして、祭り街道ということで、そうした取り組みをしているというご紹介をいただきました。

中東遠地区商工会連絡協議会 野寄会長

私は、中東遠協議会の会長、野寄です。

先ほど中山間地の産業、それから商業地域の存廃というようなお話があるのですが、我々中東遠地区もリーマン・ショック以降、それから、3・11の東日本震災以降、隣に御前崎の商工会長もおられるのですが、原発の問題。それから、一番大きいことは津波ですね。津波を恐れて、某大手の会社は浜松の都田地区の方へ移動するというような英断をされたわけですが、そういったことが影響しておるのでしょうか。静岡県で我々中東遠地区、それから志太・榛原地区、それから富士・富士宮地区が、雇用対策地域になっております。それだけ産業が空洞化していることだろうと思います。

そういった意味で、先ほど平賀会長が言われましたが、ぜひ佐久間ダムから土砂を持ってきていただいて、遠州灘のところに、高台というのか、かさ上げをしまして、防災対策をしていただけないかなとかすかな願いも持っています。

それから、道ということで考えますと、我々中東遠地区は、東西文化、経済と非常に密接な関係があつて、なかなか南北という意味では、天竜川の東とはいえ、今まで希薄な部分があつたのですが、今回の3・11以降、産業構造の偏在化ということを考えますと、ぜひ南北をこれからより強力に交流することによって、産業の多様性を求めたいと思います。我々の地域は県の雇用対策を打たなければならないところではなかったのですが、そういう状況になっているということを思いますと、経済の多様化を含めながら、雇用の創出ということも、この道に課せられた産業の発展ということも含め、当然そこには雇用の発生もあるわけで、ぜひそのところをお願いしたいと思います。道路、先ほど言いました新東名、

それからリニア等も含めながら、南北の交流をより努めていくために、ぜひ予算化を早期にやっていただければありがたいと思っております。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

中東遠地区からの問題提起でございました。この地域はもともと輸送機器を中心に、産業が大変発展していったわけですが、リーマン・ショック以降の景気の問題、そして3・11以降の津波の問題等で、企業がリスク分散、あるいはこの経済危機からの脱却ということで、海外あるいは北のほうへ生産拠点を移転するというような問題が生じております。

私どももそうですが、特定の産業に余りに偏っていきますと、何か危機があつたときに大変に大きな問題が生じるということで、今、野寄さんからお話がありましたように、産業の多様化ということにも努めていかななくてはいけない。そのためにも、今までの東西交流から南北交流、こうしたことにも力を入れていかななくてはいけないということであつたと思います。

我々も同じような悩みを持っておりまして、ぜひまたこの連携の中でも、そうした課題も共有していただければと思います。

浜松市議会 吉村議長

1つは、三遠南信自動車道の中に現道活用部分という区間があり、佐久間から水窪までが約30km、飯田市さん側の程野から喬木までが約20kmあります。このうち飯田市さん側の7割はすでに現道整備ができていとお聞きしています。ところが浜松市側の佐久間から水窪までは、実際にはまだ5割しかできていないということで、結局、先ほどから皆さんから出ていますように、一部が整備されても、整備されていないところがあつたら、結果的にそんなに効果が

上がっていかないということになります。

これを、3分の2を国が助成してくれるような直轄事業にさせていただくことを、我々は強く申し入れていく必要があると感じました。6月に三遠南信の議員協議会で国へ要望活動をしたときにも、国の直轄事業にさせていただくようぜひお願いしますと、お話をさせていただきました。

2つ目は、将来、リニア新幹線が開通し、飯田に駅ができるということは、めでたいことだと思います。その結果として、東海道新幹線ののぞみの本数が少なくなるのではないかというような話がよく聞かれます。そうすると、結果的にひかりの本数が多くなると考えられますので、浜松や豊橋に停車する本数も多くなり、これにより人の交流や物の交流も非常に盛んになり、産業の進展も期待できるようになると思います。このようなことについても、三遠南信の要望活動として展開していただきたいと思います。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

現道部分の整備というのは、実は本当に悩ましい部分でありまして、これは、今長野県側は県が事業主体となってやっていたわけですが、静岡県側は、現道活用を決めたときは、県と国の間で決めたわけですが、今政令市になり、浜松がその事業を引き継いでいるということです。

大きく分けると、この中で473号と152号と2つの国道があるのですが、473号につきましては、これは大変に今の現道を活用するという状況ではないので、ぜひこれは国の直轄で、できればトンネルで通すのが一番いいと私は思うのですが、概ね今そういうコンセンサスができているわけですが、152号のほうは、我々がとにかく一生懸命整備を今後していきますけれども、国にすべてをゆだねるのではなくて、現道活用の中

の一部大変難工事が想定される部分は、国直轄でやっていただきたいと。今、実はこういうことを国に要請をしているところでありまして、飯田から浜松まで全線供用をしっかりとできるようにするためには、やっぱりこの現道部分の整備というのは大変重要になってきますので、これは我々が一義的には頑張っていきますが、ぜひまたご支援をいただければと思います。

また、リニア効果と申しますか、リニアが供用されると、恐らく実は私どもも大変に恩恵を受けると。東海道新幹線のダイヤが非常に今度大きく変化すると思いますので、リニア供用開始までまだ随分先ですので、それがなるころにはしっかりと、豊橋市さんや浜松と掛川さんもありますが、そうしたところに新幹線の停車本数がふえるように、今通過交通がほとんどで、我々もののぞみのために線路を貸しているようなものですので、少し我々にもメリットがあるようにしていきたいと思います。そのようなご指摘でございました。

高森町 熊谷町長

高森町の熊谷です。

具体的にお話しさせていただくと、高森町は、今日、御前崎市の商工会長さんがお見えですけれども、御前崎市と友好都市の提携を結んでいます。市民レベルの交流も進んでいます。この11月にも、御前崎市の産業祭へお邪魔して、ブースを設けていただいて、リンゴですとか五平餅ですとか、そういったものを販売させていただく機会をいただいています。しかし、時間がかかるものですから、10時の開会式といいますが、高森のほうを暗いうちに出ないと間に合いません。そして、帰ってくるのも夜遅くとなりますので、三遠南信自動車道が開通すれば、もっと交流を進めやすくなる気がします。

それと、9月に災害応援協定を結んだのですが、やはり早く応援に行けたり、あるいはまた、高森のほうで災害があれば、早く応援に来ていただいたり、本当に役に立つのではないかと思います。

それと、高森の小学校5年生は、社会見学で南知多のほうへ行き、潮干狩りや地引き網の体験、そして、トヨタ自動車を見学し、1泊して帰ってくるということをしています。しかし私は、友好都市ですので、御前崎市さんへお邪魔し、静岡へ行ったらどうかということで教育委員会に言ったのですが、4時間かかるからスケジュールを組むのが大変難しいということで没になりました。

三遠南信自動車道が開けば、南知多へ行くのと同じような日程でホンダあるいはスズキを見学し、御前崎市で地引き網の体験をしたりというような、同じような組み合わせができるのではないかと、そんなことも思っています。これから三遠南信自動車道が開いたときにどのように使っていくのか。今のうちから考えていけばいいかなと思っています。

コーディネーター／浜松市 鈴木市長

既に御前崎市との交流が行われている中で、三遠南信自動車道ができたら、これを活用していくことを、今から考えておく必要があるというご指摘でございました。

この「道」分科会は、皆さんから活発なご意見が出る分科会でありまして、大変重要なご指摘を幾つかいただきました。

これからこの三遠南信自動車道でありますとか、浜松三ヶ日・豊橋道路でありますとか、あるいは渥美半島の道路でありますとか、この道路整備については、なぜその道路が必要かと。当たり前のことですが、その位置づけをしっかりとしていくと。

また、単に地域の要望だけではなくて国

全体の、今ミッシングリンクと言われますが、道路整備の中で、国として重要な道路であるという、そうした位置づけも必要であろうということ。

それからまた、道路が整備をされていくと、いろいろ地域に課題が出てくると。この三遠南信地域連携の中で、住民交流でありますとか、あるいは連携事業を盛んにしていって、地域の過疎等が生じないようにみんなで努力をしていこうというご指摘であるとか、また、3・11以降、随分と状況が変化してきて、道路に対する意識も大きく変わってまいったと。特に防災面等々、そうしたところをしっかりと押さえて、今後の道路整備にかかっていく必要があるといった点。皆様からいろいろ重要なご指摘をいただきました。こうしたご指摘をもとに、第2期に向けての取り組みに反映させていきたいと思っておりますので、引き続きのまた皆様のご理解とご支援、心からお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

